

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
																										
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	令和4年度からのスタートに向けて、エコアクション21の申請準備中。			3.9			6	7					12	13.3	14	15							
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	上記の申請を機に開示方法を検討中【検討中】												12.6										
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	太陽光発電の事業所内設置を検討中【検討中】							7.2							13								
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	該当は少ないけれども、水資源の持続的利用に配慮した調達については学習をし取組を検討												12.2	13	14	15							
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄防止を含む行動規範を作成しコンプライアンスの徹底を周知																					16	16.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	協力会社との適正な対価設定、下請け法に抵触しない関係作りと環境作りを徹底しています。																						16
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	営業内容の漏洩防止の取り組みとして客先との機密保持契約の締結									8.2	9												
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	事務所保管庫で漏洩無きような保管の実施																						16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	該当無し																						16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	同業他社と運送基本契約書を締結し、対等な立場での事業活動の継続					5				8		10		12	13	14	15	16	17				
28		製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	既にGマークを取得しているという意識を全員で持ち安全は全てに優先することを徹底			3.9										12.4								
29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している		基本	運送業にとつての最大のサービスである安全運転を常日頃より心掛け、事業所内での事故等はもちろん月1回の安全衛生委員会にて他の事業所での事故等の事例を持帰り全運転手に事業所内の安全委員会にて共有。											9											
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる		チャレンジ	該当なし						6							12	13	14	15						
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		チャレンジ	高齢者、女性、若年者にも仕事を提供、専門職に限らない仕事に取り組んで行く。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地元企業、地元荷主と関係協議の場を持ち積込待機などの過剰拘束時間の削減について話し合う。				4						9		11	12		14	15		17	
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	被災地への物資輸送などに積極的に参加表明をする。				4								11			14	15		17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	内容に付いて学習し、協力出来る項目にはチャレンジする。									8	9		11	12	13					
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	企業理念、社是を全社員により共有										8	9								17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	安全衛生委員会、事故0総決起大会の開催、地域交通課の講演受講など勉強会を実施																		16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	5S活動を実行中																		16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	営業活動の一部でステークホルダーとの対話を密にし、互いの企業活動内から改善内容を発掘していく。																		16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	社長を筆頭にリスクマネジメント。リスクアセスメント活動によりリスクの掘り起こし・改善計画を策定する。																		16	
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	予定としてSDGs会議内からCSR部門の設置を検討する。																		16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	リスクマネジメントの一環としての事業継続計画を制定										9		11		13	13.1		16		
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	リスクマネジメントの一環としての事業継続計画を制定									8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
長時間労働の防止	・労働時間の管理を徹底し、労働時間の短縮を図る			3					8.5									
大気汚染を減らす、燃費の向上	・車両毎の燃費を管理し、7月1日「リングストップ」運動を実施する			3.9				7.3						13.1				
多様性、技術革新を通じ輸送に付随する仕事の確率を達成する	・若者、高齢者、免許制限者でもあらゆる雇用の確保を目指す								8.2									
交通事故の抑止	・社員教育と運行指示で交通事故0を目指す			3.6														

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
 - ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
 - ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）